



厚小だより

【校訓】
強く 正しく 美しく

【教育目標】
○たくましい子(体)
○自ら考える子(知)
○心豊かな子(徳)

厚岸町立厚岸小学校 平成 28年9月 29日
厚岸町梅香 2丁目3番地 52-3016
～学力・心力・体力のとれた子どもの育成～

特別版

生活リズムチェックシートより

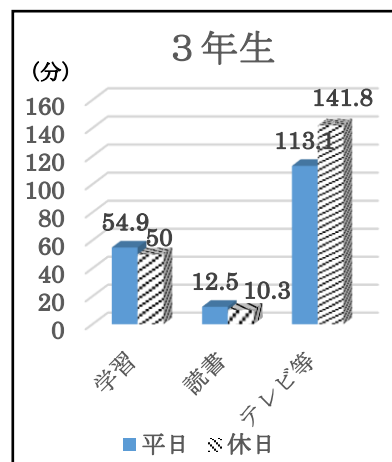
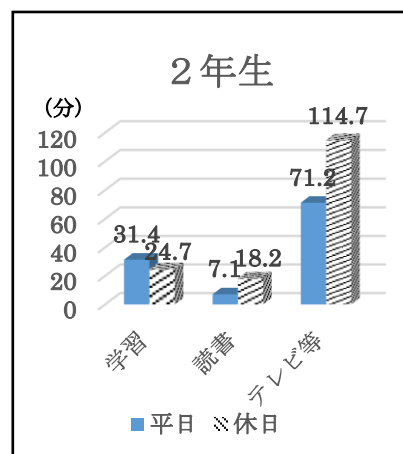
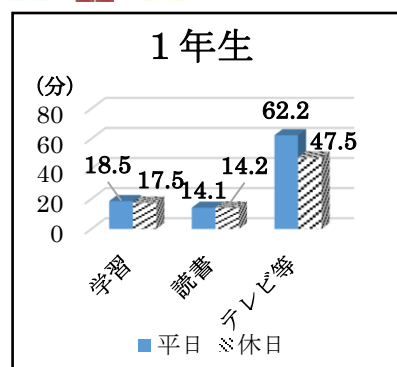
今年度も、「生活リズムチェックシート」の取り組みにご協力いただき、ありがとうございました。学年それぞれの「成果」と「課題」がありますが、項目ごとにみると一番の成果は「学習時間」です。本校の学習時間の目標は「学年×10分+10分」ですが、どの学年もおおむねその数値に到達しています。

各学級ごとの取り組みはもちろん、学校全体としても家庭学習の取り組みを重点的に行っており、今年は定期的に「ノート展覧会」を行うことで「他の学年の素晴らしいノートを参考にしよう！」「みんなのお手本になるノートを目指そう！」と子ども達一人一人の意欲の向上にも繋がっています。

今回は「課題」と考えられる項目について重点を置き、今後に向けた対策を考えていきたいと思っておりますので、ぜひご家庭での話題にしてみてください。(早寝・早起き・朝ごはんについては保健だよりで！)



低学年のうちに読書の習慣を！



◇1, 2年生は、平均14～18分程度読書をしているという結果になっていますが、一部の児童が長く読んでいることからこのような時間になっており、読んでいる人と読んでいない人の差が生じる結果となっています。

◇3年生は、ほとんどの児童がまんべんなく「読書の時間」を位置付けてはいますが、ほとんどの児童は「5分程度」と、かなり少ない時間となっています。



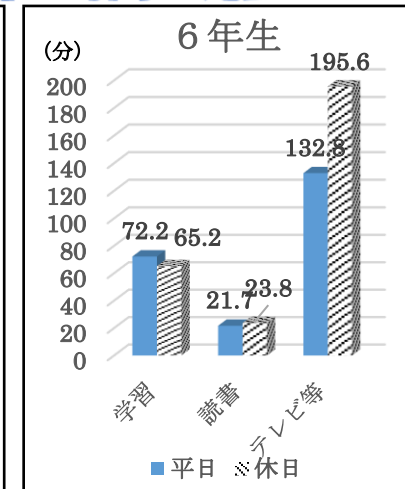
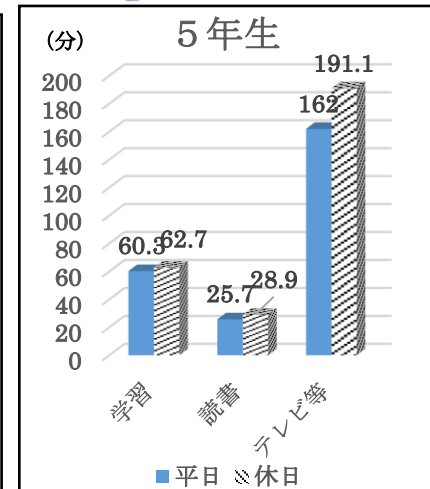
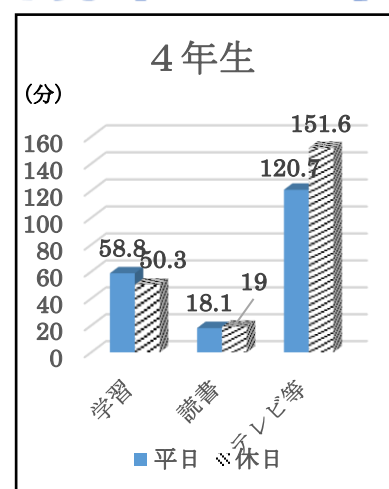
以下の内容は、「ある語彙数調査」で出された結果です。※昨年度の厚小だよりでも紹介しています。



これは、本当に極端な場合だと思いますが、この「語彙数の差」が学習における「読解力の差」「表現力の差」に繋がっていく可能性があります。

学年が上がるにつれて下校時刻も遅くなりますし、家での学習すべき時間も増えます。また、人によっては習い事や少年団活動などもあり、「時間を生み出すこと」がどんどん難しくなってくるでしょう。だからこそ、比較的時間を生み出しやすい低学年の頃に「読書する習慣」を身につけておくことが、これからの更なる「学力の向上」に結び付けていくのではないかと思います。

高学年は「テレビ」「ゲーム」「インターネット」の時間の見直しを！



4年生あたりから急激に増えてくるのが「テレビ・ゲーム・インターネット」の時間です。全体的な内訳は「テレビ」の時間が一番多いですが、時間が増える一番の原因はこれら3つをまんべんなく見ている(行っている)こと。

一番長い6年生の休日は平均3時間15分ですが、あくまで全体の平均です。一人一人見ていくと「ゲームだけで6時間」「全ての項目のトータルが6～7時間くらい」になってしまうという児童もいます。

また、「これくらいがちょうどよい時間」という明確な目安がないことから、「見すぎ・やりすぎ」という感覚がつかめていない人もいるのかな？ということも考えられます。

まずは、学年ごとの平均時間と自分の時間とを比較し、それ以内ならそこを守るように、時間が大きくオーバーしていたら改善が必要！と考えて、時間の使い方を見直してみましょう。

